

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学5							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	2期	森下 友雄		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師が臨床現場で携わる機会が多い、骨や筋、神経の損傷や障害を解剖学的要素からのみ捉えるだけでなく、生理学的要素の知識も踏まえた上で、対応が出来る様に展開して行く。							
目標							
<b>一般目標 (GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師が取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えられる為に、そこに係わる運動器の構造・作用、神経機能等の知識を習得すると共に、臨床において運動器の構造・作用の視点から損傷や障害に対して説明できる知識を身に付ける。						
	<b>到達目標 (SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 運動器の構造等について、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 2. 運動器の作用等について、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 3. 神経の構造と機能等について、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 4. 損傷や障害の原因等について理解し、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
1年次に学んだ解剖学が実際に起こる損傷や障害に結びつくため、運動器や神経等の解剖学を復習する必要があります。							
教科書・参考書							
解剖学、柔道整復学理論編							
受講上の注意							
毎回の講義の復習を十分行ってください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	オリエンテーション、神経(中枢神経)の構造と損傷①			解剖学	配布プリント		
第2回	神経(中枢神経)の構造と損傷②			〃	〃		
第3回	神経(中枢神経)の構造と損傷③、末梢神経の構造と損傷①			〃	〃		
第4回	末梢神経の構造と損傷②			〃	〃		
第5回	末梢神経の構造と損傷③			〃	〃		
第6回	末梢神経の構造と損傷④			〃	〃		
第7回	損傷・障害と解剖学的要素の総まとめ①			〃	〃		
第8回	損傷・障害と解剖学的要素の総まとめ②			〃	〃		
第9回	損傷・障害と解剖学的要素の総まとめ③			〃	〃		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
8年前から現在も整形外科で勤務していることから、柔道整復術の適応の判断となる知識について学生さんに伝えていきたい。							
メールアドレス							
morishita@nihonisen.ac.jp							